

# 風災害フォーラム

## 高知の風、あなどるべからず

### 開催趣旨

南海・東南海地震の再来を控え、耐震・津波対策が進められている高知県ですが、その一方で気象災害は毎年のように被っており、多少の被害はいつものことといったように楽観視されがちです。本フォーラムは、改めて突風や強風が貴重な人命を奪う恐ろしいものであることをご理解いただくとともに、どのような対策が可能かを紹介し、風災害に対する防災意識を高めることを目的として開催するものです。

開催日時： 2009年11月15日（日）13:30~17:00（13時開場）

場 所： 高新文化ホール

対 象： 一般市民および行政機関の防災担当者

主 催： 日本風工学会

共 催： 高知大学

後 援： 高知県、高知地方気象台

### -プログラム-

司会： 東北大学教授 植松 康  
東北大学教授 植松 康

### 開会挨拶・趣旨説明

#### 第1部 講演（突風や強風の性質）

高知の突風災害と突風のしくみ 高知大学教授 佐々浩司  
台風の特性と強風災害 京都大学准教授 林 泰一

#### 第2部 講演（耐風対策・減災対策）

建物の耐風性 日本建築総合試験所耐風試験室長 西村宏昭  
自治体の対応事例—延岡竜巻 延岡市総務部防災推進室 上杉泰洋  
竜巻注意情報の活用とその対応について 高知地方気象台技術課長 真木敏郎

#### 第3部 パネルディスカッション

上記の講演者と会場との意見交換

### 閉会挨拶

同時開催： 公開実験「竜巻をつくる」

場 所： 高新文化ホール前ロビー